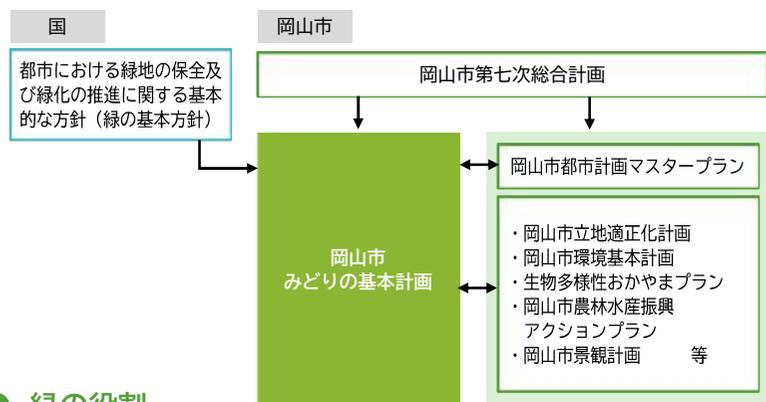


岡山市みどりの基本計画【概要版】

令和8年3月

- 「緑の基本計画」とは、都市緑地法に基づき、緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを定める、緑に関する総合的な計画です。
- 本計画における緑は、都市公園、河川、道路、学校などの公共空間の緑、民有施設の緑、林地、家庭の庭など、公共空間からプライベートの空間など、あらゆる緑を対象とします。

● 計画の位置付け



● 緑の役割

都市における緑には、多様な機能があり、多様な機能と重要性を踏まえつつ、緑の保全、緑化の推進、協働・発信、緑の活用を行っていくことを目指した計画とします。

気候変動対策

生物多様性の確保

Well-being の向上

都市のレジリエンス
の向上

美しい景観の創出、
環境教育等の場としての活用

都市における
循環型社会への寄与

● 緑の現状



令和元年街路樹再生プログラムを策定
令和6年第2期プログラムを策定



ハレまち通り

令和7年4月1日時点で **467箇所 (1,149.62ha)** の都市公園が整備済

令和5年(2023年)時点で
市民一人当たりの公園面積 (17.23㎡) は
岡山県平均 (15.67㎡) を上回っている



北長瀬未来ふれあい総合公園

● 緑の課題

本市の現況を
踏まえた課題

- ・ 緑の量の確保
- ・ 樹木の質の向上
- ・ 公園等の管理の改善

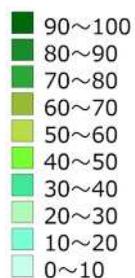
社会情勢を
踏まえた課題

- ・ 新しい社会動向への対応
- ・ 少子高齢化・人口減少社会による生活環境、都市環境の変化への対応
- ・ 気候変動問題の深刻化、自然環境や生態系の変化への対応
- ・ 一人ひとりのいきいきとした都市生活の実現
- ・ 市民や事業者との協働による緑化の推進

● 岡山市の緑被率

町丁目別（衛星画像分析）からみえる課題

R 6 都市計画区域 68.0% (▲0.9%)
市街化区域 11.1% (▲2.1%)
※カッコ内は5年前からの変化



市街化区域



出典：令和7年度 緑被率（岡山市調査）

令和7年度に岡山市の緑被率を調査したところ、国の目標値よりも低く、ほかの都市と比較すると低い。



※公開されている政令指定都市の市街化区域の緑被率データより岡山市作成。

※緑被の対象は農地・樹林地・草地等の緑。内訳不明な都市（神戸市・福岡市）は水面、グラウンド等含めた値。

図：政令指定都市の緑被率（市街化区域）の比較

● 岡山市の小学生・中学生アンケート

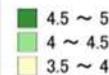
「緑の豊かさに対する評価」からみえる課題

令和7年度に小中学生 11,116 人にアンケート調査を行ったところ、市街地、特に中心地に向かうほど緑の豊かさに対する評価が低いという結果になった。

緑の豊かさ
(中学校区単位集計) N=11,116



点数



市街化区域

※加重平均による点数で表示

- 5点 豊かだと思ふ
- 4点 どちらかといえば豊かだと思ふ
- 3点 どちらともいえない
- 2点 どちらかといえば、豊かではないと思ふ
- 1点 豊かではないと思ふ

1. みどりある日常

日常の中に緑があふれ、
心地よい暮らしを実感できるまち

方針① 快適な暮らしをまもる

方針② 暮らしを彩る

方針③ 日常的な活動・憩いの場をつくる

4つのテーマについて

本市が目指す緑の将来像として、豊かな水と深い緑という本市の特性を活かしながら、そこに暮らす人々の活力があふれ躍動する都市をイメージしつつ、市民と行政が一体となって4つのテーマに取り組んでいきます。

3. 魅力・にぎわい

だれもが、
何度も訪れたくなる、
会いたくなるまち

方針① シンボル・誇りとなる緑を守り育む

方針② にぎわいを創出する緑をつくる

方針③ 協働で魅力ある緑をつくる

2. 環境・持続可能性

豊かな自然を身近に感じられ、
自然とのつながりを実感できるまち

方針① 未来につながる自然を守る

方針② 生きものと共生できる緑と水を守る

方針③ 持続可能なまちの基盤となる緑をつくる

緑の合言葉に込めた意味

まちなかの緑が少ない現状から緑化、緑の保全を「リスタート」することを、岡山の方言「うったて」で表現し、親しみやすさと岡山らしさを両立させるという思いを込めた「みどりの岡山をうったてよう」という合言葉にしました。

4. 安全・安心

自然災害から人々を守る緑がある、
安全・安心に暮らせるまち

方針① 自然災害から市民を守る

方針② 災害に備える施設を充実する

方針③ 計画的な老朽化対策を進める

緑の合言葉

みどりの岡山を
うったてよう

● 計画の実現に向けて

1. 計画の推進体制

市民や事業者と協働するとともに、庁内の関連する事業との調整、連携を図りつつ、効率的に目標の実現を目指します。

市民・事業者との
連携・協働

市役所内
推進体制

国や県、
近隣市町との連携

2. 財源の確保

整備すべき公園、保全すべき緑、増やすべき緑の優先度に応じて、計画的に事業を推進し、財源の確保に努めます。

3. 計画の推進管理

PDCAサイクルにより、施策に基づく事業の状況把握と評価を実施します。

4. 計画見直しの考え方

目標の達成状況などを踏まえ、計画の見直しを検討します。

社会経済情勢の変化や関連法令の改正、上位計画の改定など、計画と大きなずれが生まれた場合は、必要に応じて計画を見直します。



発行：岡山市 発行年月：令和8年3月
 編集：岡山市 都市整備局 都市・交通部 庭園都市推進課
 TEL (086)803-1395 (内線 3682) FAX (086)803-1740
 Web : <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000078895.html>

評価指標

①市民満足度

	現況 (令和7年度)	10年後 (令和17年度)
公園・緑地の整備や緑化推進に対する市民満足度 (※岡山市市民意識調査)	40.9%	50%

②樹木

	現況 (令和7年度)	10年後 (令和17年度)
緑視率		
・中心市街地	22.9%(R6)	25.0%(R10)
・西大寺駅周辺地区	16.2%(R6)	25.0%(R16)
・北長瀬駅周辺地区	15.0%(R6)	25.0%(R16)
街路樹の再生 岡山シンボルグリーン	15路線	100箇所・路線 (R12)

③緑被率

	現況 (令和7年度)	10年後 (令和17年度)
・岡山市全体	74.4%	(現状程度)
・都市計画区域	68.0%	(現状程度)
・市街化区域	11.1%	11.1%
・中心市街地重点整備エリア	2.2%	3.0%

④公園

	現況 (令和7年度)	10年後 (令和17年度)
長寿命化計画進捗率	0%	100%(R16)
官民連携公園数 ※民間ノウハウを活用する諸制度利用数	1公園	5公園以上
1人当たりの公園面積	16.92㎡/人	(現状程度)

計画や
アンケート結果は
こちらから！

